

## 平成 25 年度 第 4 回 N 災害等に関する消防活動対策分科会

日時：平成 26 年 1 月 21 日（火）14:00～16:00

場所：農林水産省 三番町共用会議所

### 1. 検討会の概要

(1) 日時：平成 26 年 1 月 21 日（火）14:00～16:00

(2) 場所：東京都千代田区九段下南 2-1-5

農林水産省「三番町共用会議所」

(3) 出席者（敬称略）

委員：鶴田 俊、富永 隆子、武藤 重男、平澤 崇憲、渡辺 又介、

竹泉 聡、椛嶋 健二、渡邊 敏行、松井 和幸

オブザーバー：中村 勝美、鶴園 和男、日高 隆治、坂本 昌也、定岡 由典、

長谷川 大輔、齋藤 健一、鈴木 健

### 2. 概要

事務局より、資料に基づき説明し、質疑応答及び議論を行った。

#### 【委員等の主な意見】

- 鼻スメヤについては、一応、これだけやっておけば、当面、今、考える中では、必要と思われることは網羅している。
- 様式集については、実際に訓練等で使っていただく中で、少し使いやすい格好に変更していただくということになるかと思う。
- マニュアル本編に記載されている様式番号と様式集の番号の整合性を図るべき。
- 現場はこのような情報整理しながら、活動についてどこが漏れているかというチェックをするという観点からすると、このような様式のほうが現場指揮本部としては使いやすいと考える。訓練の中でこの様式が自分たちの所属に合っているかどうかというのは、工夫しながら、つくっていけば良い。
- 訓練等で過去の事例等を参考に、この様式に記入しながら確認をどこかでやっていただくというのも一つの手だと思う。
- 鼻スメアの少なくとも、サンプル番号や実施したか否か等の記録は書けるようにすること。

- 靴カバーについて、メーカーによって強度などに差はあるが、濡れた場所で滑りやすい場合がある。状況に応じて使用するか、安全をまず優先してもらおうということが大事である。
- 靴底の除染方法としてガムテープによる除染が有効である。
- 今後の課題としては、各消防本部でこのマニュアルを用いて実際に訓練等をやってみて内容の確認をして改善していくことが重要となる。
- 他の機関と関係する体制についても、訓練等を通じて連携部分の確認をしていくことが大切である。
- 訓練に参加するメンバーと実際に参加するメンバーが違うことについて、実際に非常時で集まるメンバーの顔が違くと人間関係がそこで崩れることから、日ごろからそこに集まる人間が訓練に参加しないと訓練自体が無意味になってしまう。それが福島原発の一番大きな反省だと思う。
- 今後の課題には、人材の育成、それから専門教育への取り込みというものについても記述していただきたい。

以 上